

視察の受入れ ～豊岡版DMO・コウノトリと共に生きる環境への取り組み～

豊岡観光イノベーション（TTI）では、「DMO組織の設立経緯から取り組み」、「豊岡市のインバウンドの取り組み」、また「コウノトリと共暮らししていくための官民それぞれの環境への取り組み」等について、他県自治体・団体・民間企業からの視察・取材を積極的に受け入れています。
2017年度は4-12月で、23団体・185名の視察対応を行いました。

視察の際には、国・県・市のみならず、JAたじま、NPO法人、地域住民にもご協力いただき、豊岡の街全体の取り組みを学んでいただくようにしています。またTTIが販売している体験プログラムをアレンジすることもあります。DMOの視察+城崎温泉街・出石城下町視察（昼食アレンジ）、DMO視察+ドローン体験（京丹後市）など。

視察に訪れる皆さまは、必ず豊岡市内で昼食をとられ、ほとんどの団体が、市内に宿泊されます。観光地現地視察の際には、お土産を購入され、「次回は視察ではなく、家族や友人と来訪します!」とってくださいませ。一人でも多くの方に、豊岡にお越しいただくことで、更なる発信にも繋がります。今後も、視察対応をしっかりと行っていきたいと思っております。



着地型プログラム 体験者の声

Snow Experience



12月から「Visit Kinosaki」サイトで販売している「Kannabe Nature School's Exclusive Snow Experience」を予約され、体験された方々の声をご紹介します!!

- ☆体験者さん（その1）：シンガポールから、12月23日家族5人で参加
- ★体験者さん（その2）：シンガポールから、1月2日に恋人同士で参加

シンガポールは、長期学校休暇のある12月が訪日ハイシーズンです。

今回の参加者いずれも訪日回数は5回程度と、公共交通機関やレンタカーを活用されている旅慣れたリピーターの方々でした。1週間以上、日本に滞在され、旅の計画は、3-4か月前からとのことでした。☆体験者さん（その1）は、家族でスノーシュー目的で、神鍋高原を訪問、★体験者さん（その2）は、神鍋高原&城崎温泉街を堪能。なんと、神鍋でプロポーズをされたとか!!

2組とも、体験プログラムには非常に満足され、是非とも友人・知人や家族にもお勧めしたい!と感想をいただきました。



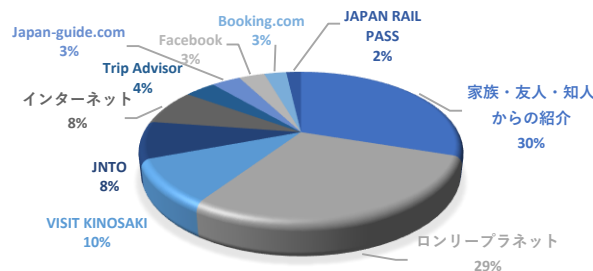
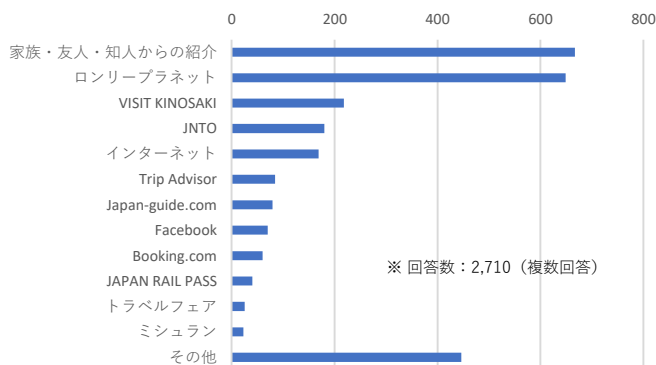
☆Kannabe Highlands and the surrounding landscape offers a breathtaking view in winter!

★I love it here!

外国人観光客動向 in Kinosaki

豊岡市の外国人宿泊者数の9割を占める城崎温泉にて、観光客アンケートを実施し、観光客動向を調査しています。
 (アンケート実施期間：2015年4月～2017年9月)

今回は、どのような媒体を通じて、城崎の情報を得られ、来訪されたのかを調査した結果をお知らせします。



口コミの影響が大きいこと、依然としてガイドブックで情報収集されていることがわかります。家族や友人・知人のおススメ度が行き先決定の重要な要素になっているようです。来訪者の記憶に残る旅先になることが大切です。Visit Kinosakiでも、来訪意欲を喚起する情報の発信に努めます!

会員トピックス

冬定番！！神鍋高原のお宿「名色荘」



神鍋高原の大自然の中にある「名色荘」では、オーナーが生活している古民家の空き部屋にお客様が宿泊されます。旅館やホテルとは違い、**田舎の実家に帰ったような“アットホーム”な雰囲気**のお宿です。

Visit Kinosaki（以降、VK）に参画していただき、初めてVKから外国人のお客様の予約が入りました。

★名色荘のオーナー：岡森さんにお話を伺いました！

VKからの予約でご宿泊されたのは、**シンガポールからの20代のカップル**。11月下旬にVKから予約が入り、VKのアクセス情報を参考にされたのか、宿泊当日（年末）に、JRと全但バスで最寄りのバス停まで、ご自分たちで来られました。

神鍋に来た一番の目的は、雪の中をハイキングしたかった！とのこと。

スノーシューをするために、神戸から直接神鍋に来られたそうです。「かんなべ自然学校」の「スノーシュー体験」の予約をお手伝いし、翌朝体験プログラムに参加されました。**会話は英語のみでしたが、ネットの翻訳機能を利用するなど、コミュニケーションをとり、夕食のすき焼きや朝食の和定食も満喫され、神鍋を後にし、京都へ向かわれました。**

名色荘：豊岡市日高町名色102
TEL：0796-45-0569 HP：<https://www.nashikisou.com/>

訪日インバウンドNews

ムスリム旅行者の増加

近年、**東南アジア向けのビザの緩和、LCC（格安航空会社）の就航**により、**東南アジアからの訪日旅行者が増加**（東南アジア6市場の訪日旅行者数は、**2010年⇒2016年に約3.5倍**）しています。東南アジアには、**ムスリムが多く、ムスリム旅行者受入れの対応が求められています。**

◎東南アジア向けのLCC日本発着便

国	キャリア	発着空港
タイ	ジェットスター タイエアアジアX スクート	福岡 成田・関西 成田、関西
シンガポール	スクート ジェットスターアジア	成田、関西 関西、福岡
マレーシア	エアアジアX	羽田、成田、中部、関西
フィリピン	セブパシフィック ジェットスターアジア	成田、中部、中部 関西

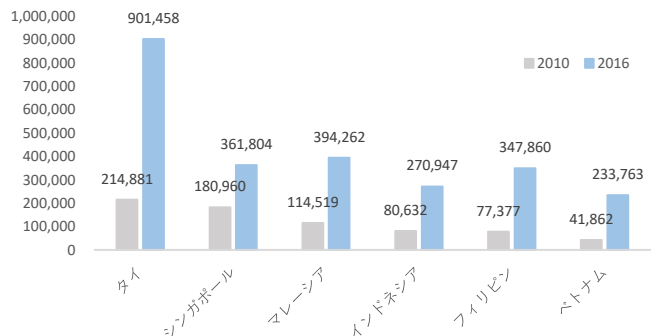
ムスリムとは

世界三大宗教の1つ、**イスラーム（イスラム教）を信仰している人々をムスリム**といい、イスラム教の様々な教えに基づき、生活しています。ムスリムは、**世界人口の約1/4**を占めています。

ムスリム用語： ハラル・・・許された行為・もの
ハラーム・・・禁じられた行為・もの

イスラームには、生活全体に関わる様々な規範があり、**イスラームの教えの解釈やその実践方法には、宗派や国・地域、文化、個人によって異なります。**そのため、ムスリム旅行者向けの対応に、**世界統一基準はありません。**

◎東南アジア6市場の訪日旅行者数（2010年・2016年） ※訪日外客数(INTO)



◎東南アジア諸国のムスリム人口：

タイ：約400万人（人口の約6%）、シンガポール：約70万人（15%）、マレーシア：約1,700万人（61%）、インドネシア：約20,480万人（88%）、フィリピン：約470万人（5%）、ベトナム：約20万人（0.2%）

<知っておくべき規範 ①食 ②礼拝>

①「豚」と「アルコール」はNG。加工食品や調味料まで口にしない、また動物性の食材全般にも、イスラームのと畜方法で処理された肉（ハラール肉）以外を口にすることは避けるべきとされています。

②1日5回、決められた時間（夜明け前、昼、午後、日没後、夜）に礼拝。旅行中は、礼拝の回数を減らす方々もあります。

その他、異性との接触、素肌を見せることを嫌がる、右手を優先して使う、犬を嫌がる、偶像崇拜禁止、断食月（ラマダーン）といった生活習慣がありますが、個人差があるため、受入の際には、**ひとりひとりのニーズを聴き、個々を尊重した対応が重要**となっています。

お知らせ：2018年1月24日（水）、2月27日（火）観光まちづくりセミナー開催！！